

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年11月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第87期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社ニッチツ |
| 【英訳名】 | NITCHITSU CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 塩谷 和男 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区赤坂一丁目11番30号 |
| 【電話番号】 | (03)5561 6200(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部総務部長 松井 慎一 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区赤坂一丁目11番30号 |
| 【電話番号】 | (03)5561 6200(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部総務部長 松井 慎一 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第86期 第2四半期連結 累計期間 | 第87期 第2四半期連結 累計期間 | 第86期 |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日 | 自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日 |
| 売上高(百万円) | 5,440 | 5,437 | 11,433 |
| 経常利益(百万円) | 733 | 802 | 1,669 |
| 四半期(当期)純利益(百万円) | 254 | 448 | 835 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 152 | 438 | 739 |
| 純資産額(百万円) | 9,078 | 9,933 | 9,579 |
| 総資産額(百万円) | 16,333 | 16,745 | 16,776 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 11.98 | 21.08 | 39.29 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 55.6 | 59.3 | 57.1 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(百万円) | 557 | 366 | 2,035 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(百万円) | 109 | 304 | 177 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(百万円) | 487 | 332 | 878 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円) | 3,329 | 4,079 | 4,349 |

| 回次 | 第86期 第2四半期連結 会計期間 | 第87期 第2四半期連結 会計期間 |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 5.53 | 10.54 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式がないため、記載しておりません。
4. 第86期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当社グループを取り巻く事業環境は、新造船のうちバルカーにかかる過年度までの豊富な受注残を背景に、船用機器の需要は総じて高水準で推移いたしました。また、半導体、情報通信関連分野は、第2四半期に入り、半導体関連がやや減速したものの、全体としては需要は堅調に推移いたしました。他方、賃貸ビル業においては、都内オフィスビルの平均空室率が高止まりする一方、設備投資の低迷に伴い関連需要も低調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は54億3千7百万円（前年同期比微減）、営業利益は7億7千1百万円（同12.3%増）、経常利益は8億2百万円（同9.4%増）、四半期純利益は4億4千8百万円（同76.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

機械関連事業

船用機器においては、バルカーにかかる過年度までの豊富な受注残に支えられハッチカバー及び大型ブロックの出荷は伸長したものの、自動車運搬船向けカーデッキの落込を吸収し得ず減収となりましたが、受注は工場ラインのシフト等によりハッチカバーの需要を積極的に取り込んだこと等により増加いたしました。産業機器は、重電関連機器は堅調であったものの、空気予熱機関連及び製鉄関連の落込等により、売上、受注とも減少いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は32億4千3百万円（前年同期比8.4%減）、セグメント利益は4億6千7百万円（同4.6%減）となりました。

資源関連事業

半導体封止材や液晶ガラスなどの原料であるハイシリカ（精製珪石粉等）は、半導体関連及び液晶関連の需要が、第2四半期に入り、ユーザーの在庫調整や海外調達へのシフトの影響等からややペースダウンしたものの、高純度製品の市場開拓が寄与し増収となる一方、結晶質石灰石も、住宅関連資材向け需要が一部震災復興関連を含め堅調に推移するとともに、自社素材をベースとした環境関連資材（水処理用窒素除去剤）の需要開拓等により、出荷が伸長いたしました。他方、砂利、砂等の土木建設資材は需要が底這う中、減収となりました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は17億3千3百万円（前年同期比23.6%増）、セグメント利益は2億1千7百万円（同101.1%増）となりました。

不動産関連事業

賃貸ビル市況が低迷する中、稼働率がやや低下し、売上高は8千万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は4千3百万円（同2.7%減）となりました。

その他

耐熱塗料の需要は、設備用は回復傾向を示したものの、家電及びO A機器向け輸出仕様品等工業用の出荷が競争激化や需要先の減産等の影響により減少する一方、ライナテックス（高純度天然ゴム）関連も取引先の定期修繕等の需要捕捉に努めたものの、製鉄関連向け大型案件のあった前年同期との対比で僅かに減少し、この結果、「その他」合計では、売上高は3億8千1百万円（前年同期比8.7%減）となりましたが、セグメント利益はライナテックス関連における業務効率化等が寄与し4千5百万円（同1.4%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、40億7千9百万円となり、前連結会計年度末（43億4千9百万円）より2億7千万円（前連結会計年度末比6.2%減）減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3億6千6百万円（前年同四半期連結累計期間に比べ1億9千1百万円の減少）となりました。これは主にたな卸資産の増加額が2億4千7百万円、法人税等の支払額が3億8千1百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が7億6千9百万円、減価償却費が2億7千2百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3億4百万円（前年同四半期連結累計期間に比べ1億9千4百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3億3千2百万円（前年同四半期連結累計期間に比べ1億5千5百万円の減少）となりました。これは主に借入金の返済による支出があったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、7百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 87,300,000 |
| 計 | 87,300,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成23年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 21,300,000 | 21,300,000 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数 1,000株 |
| 計 | 21,300,000 | 21,300,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (千株) | 発行済株式総 数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 | - | 21,300 | - | 1,100,000 | - | 793,273 |

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%) |
|--|-------------------------------|---------------|--------------------------------|
| (株)みずほコーポレート銀行 | 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 | 1,057 | 4.96 |
| 旭化成(株) | 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 | 1,000 | 4.69 |
| 三菱重工業(株) | 東京都港区港南二丁目16番5号 | 1,000 | 4.69 |
| (株)常陽銀行 | 茨城県水戸市南町二丁目5番5号 | 804 | 3.77 |
| (株)親和銀行 | 長崎県佐世保市島瀬町10番12号 | 803 | 3.77 |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株) (退職給付信託・(株)池田泉州銀行口) | 東京都港区浜松町二丁目11番3号 | 745 | 3.50 |
| 高野 東治 | 埼玉県秩父市 | 701 | 3.29 |
| (株)証券ジャパン | 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番18号 | 600 | 2.82 |
| 東京海上日動火災保険(株) | 東京都千代田区丸の内一丁目2番1号 | 573 | 2.69 |
| 扇栄会 | 東京都港区赤坂一丁目11番30号 株式会社ニッチツ内 | 573 | 2.69 |
| 計 | - | 7,856 | 36.88 |

(注) 1. 所有株式数は表示単位未満を切捨て、所有株式数の割合は小数点第3位を四捨五入しております。

2. 日本マスタートラスト信託銀行(株)の所有株式数は信託業務に係るものであります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 39,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 21,174,000 | 21,174 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 87,000 | - | - |
| 発行済株式総数 | 21,300,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 21,174 | - |

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、(株)証券保管振替機構名義の株式が6,000株(議決権の数6個)含まれております。
2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式231株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社ニッチツ | 東京都港区赤坂1丁目11番30号 | 39,000 | - | 39,000 | 0.18 |
| 計 | - | 39,000 | - | 39,000 | 0.18 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,622,729 | 4,383,166 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,589,213 | 2,710,081 |
| 商品及び製品 | 283,378 | 301,374 |
| 仕掛品 | 663,442 | 841,178 |
| 原材料及び貯蔵品 | 225,953 | 278,014 |
| その他 | 441,939 | 366,913 |
| 貸倒引当金 | 488 | 471 |
| 流動資産合計 | 8,826,169 | 8,880,257 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,434,240 | 2,388,018 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,330,889 | 1,186,388 |
| 土地 | 2,507,946 | 2,479,021 |
| その他(純額) | 63,588 | 151,585 |
| 有形固定資産合計 | 6,336,665 | 6,205,015 |
| 無形固定資産 | 23,389 | 23,462 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,165,771 | 1,159,599 |
| その他 | 428,538 | 479,198 |
| 貸倒引当金 | 3,567 | 2,506 |
| 投資その他の資産合計 | 1,590,741 | 1,636,291 |
| 固定資産合計 | 7,950,796 | 7,864,768 |
| 資産合計 | 16,776,965 | 16,745,026 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 818,843 | 931,637 |
| 短期借入金 | 2,669,603 | 2,600,410 |
| 未払法人税等 | 374,061 | 316,332 |
| 賞与引当金 | 143,869 | 133,109 |
| 役員賞与引当金 | 23,200 | 11,600 |
| 受注損失引当金 | 35,235 | 39,181 |
| 環境安全対策引当金 | 2,160 | - |
| 資産除去債務 | 35,429 | 23,469 |
| その他 | 929,436 | 783,282 |
| 流動負債合計 | 5,031,839 | 4,839,021 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 698,544 | 520,680 |
| 退職給付引当金 | 530,387 | 551,565 |
| 役員退職慰労引当金 | 115,068 | 126,147 |
| 環境安全対策引当金 | 63,571 | 63,571 |
| 資産除去債務 | 80,969 | 68,957 |
| その他 | 676,588 | 641,891 |
| 固定負債合計 | 2,165,128 | 1,972,813 |
| 負債合計 | 7,196,967 | 6,811,834 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,100,000 | 1,100,000 |
| 資本剰余金 | 811,257 | 811,257 |
| 利益剰余金 | 7,577,295 | 7,940,524 |
| 自己株式 | 9,587 | 9,633 |
| 株主資本合計 | 9,478,965 | 9,842,148 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 95,906 | 83,437 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 1,072 |
| 為替換算調整勘定 | 5,125 | 8,677 |
| その他の包括利益累計額合計 | 101,032 | 91,043 |
| 純資産合計 | 9,579,997 | 9,933,191 |
| 負債純資産合計 | 16,776,965 | 16,745,026 |

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日) | 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 5,440,199 | 5,437,821 |
| 売上原価 | 4,129,668 | 3,983,308 |
| 売上総利益 | 1,310,531 | 1,454,513 |
| 販売費及び一般管理費 | ¹ 623,835 | ¹ 683,015 |
| 営業利益 | 686,696 | 771,497 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,933 | 2,393 |
| 受取配当金 | 20,259 | 18,449 |
| 持分法による投資利益 | 28,866 | 42,334 |
| その他 | 53,636 | 26,605 |
| 営業外収益合計 | 105,695 | 89,781 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 24,261 | 18,638 |
| 休廃止鉱山管理費 | ² 21,411 | ² 23,045 |
| その他 | 13,324 | 17,198 |
| 営業外費用合計 | 58,997 | 58,883 |
| 経常利益 | 733,394 | 802,396 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,962 | 6 |
| 特別利益合計 | 1,962 | 6 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 5,275 | 4,278 |
| 減損損失 | 17,330 | 28,745 |
| 投資有価証券評価損 | 156,483 | - |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 54,383 | - |
| その他 | 25,918 | - |
| 特別損失合計 | 259,391 | 33,023 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 475,965 | 769,378 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 189,584 | 324,117 |
| 法人税等調整額 | 31,709 | 3,011 |
| 法人税等合計 | 221,294 | 321,105 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 254,671 | 448,272 |
| 四半期純利益 | 254,671 | 448,272 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 254,671 | 448,272 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 71,451 | 12,468 |
| 繰延ヘッジ損益 | 7,731 | 1,072 |
| 為替換算調整勘定 | 23,094 | 3,551 |
| その他の包括利益合計 | 102,278 | 9,988 |
| 四半期包括利益 | 152,393 | 438,284 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 152,393 | 438,284 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 475,965 | 769,378 |
| 減価償却費 | 292,896 | 272,599 |
| 減損損失 | 17,330 | 28,745 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 2,630 | 21,178 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 8,183 | 11,079 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 17,505 | 10,760 |
| 受取利息及び受取配当金 | 23,192 | 20,842 |
| 支払利息 | 24,261 | 18,638 |
| 持分法による投資損益(は益) | 28,866 | 42,334 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 156,483 | - |
| 有形固定資産売却損益(は益) | 1,962 | 6 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 54,383 | - |
| 有形固定資産処分損益(は益) | 5,275 | 4,278 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 89,155 | 120,867 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 121,995 | 247,792 |
| 未収入金の増減額(は増加) | 229,557 | 10,624 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 61,205 | 64,532 |
| 未払金の増減額(は減少) | 7,671 | 1,707 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 20,224 | 13,826 |
| 未払費用の増減額(は減少) | 79,429 | 2,850 |
| 前受金の増減額(は減少) | 64,368 | 672 |
| その他 | 18,323 | 37,654 |
| 小計 | 840,176 | 681,837 |
| 利息及び配当金の受取額 | 112,565 | 84,448 |
| 利息の支払額 | 24,698 | 18,940 |
| 和解金等の支払額 | 6,800 | - |
| 法人税等の支払額 | 363,694 | 381,028 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 557,549 | 366,316 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1,670 | 1,955 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 105,478 | 250,909 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,211 | 263 |
| 貸付金の回収による収入 | 6,360 | 7,020 |
| 資産除去債務の履行による支出 | 13,964 | 24,156 |
| その他 | 1,833 | 34,435 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 109,709 | 304,173 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 26,532 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | 375,817 | 247,057 |
| 自己株式の取得による支出 | 534 | 46 |
| 配当金の支払額 | 85,057 | 85,043 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 487,941 | 332,147 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 143 | 57 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 40,244 | 270,062 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,369,558 | 4,349,229 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,329,314 | 4,079,166 |

【四半期連結財務諸表作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

| |
|--|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| | |
|--------------------------|------------------------------|
| 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
| 受取手形裏書譲渡高は80,287千円であります。 | 受取手形裏書譲渡高は67,498千円であります。 |

(四半期連結損益計算書関係)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------|------|----------|------|----------|----------|----------|------------|----------|--------|---------|--------------|----------|--|------|-----------|------|----------|------|----------|----------|----------|------------|----------|--------|---------|--------------|----------|
| 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">運賃諸掛</td><td style="text-align: right;">270,551千円</td></tr> <tr><td>役員報酬</td><td style="text-align: right;">68,801千円</td></tr> <tr><td>給料手当</td><td style="text-align: right;">71,073千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">16,109千円</td></tr> <tr><td>役員賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">12,550千円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">7,359千円</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">10,699千円</td></tr> </table> 2 休廃止鉱山管理費 休廃止鉱山の坑口等から排出される坑廃水を鉱山保安法に基づき恒常的に処理する環境対策費用等であります。 | 運賃諸掛 | 270,551千円 | 役員報酬 | 68,801千円 | 給料手当 | 71,073千円 | 賞与引当金繰入額 | 16,109千円 | 役員賞与引当金繰入額 | 12,550千円 | 退職給付費用 | 7,359千円 | 役員退職慰労引当金繰入額 | 10,699千円 | 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">運賃諸掛</td><td style="text-align: right;">316,266千円</td></tr> <tr><td>役員報酬</td><td style="text-align: right;">69,797千円</td></tr> <tr><td>給料手当</td><td style="text-align: right;">81,472千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">18,254千円</td></tr> <tr><td>役員賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">11,600千円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">8,128千円</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">11,079千円</td></tr> </table> 2 休廃止鉱山管理費 同左 | 運賃諸掛 | 316,266千円 | 役員報酬 | 69,797千円 | 給料手当 | 81,472千円 | 賞与引当金繰入額 | 18,254千円 | 役員賞与引当金繰入額 | 11,600千円 | 退職給付費用 | 8,128千円 | 役員退職慰労引当金繰入額 | 11,079千円 |
| 運賃諸掛 | 270,551千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員報酬 | 68,801千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給料手当 | 71,073千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金繰入額 | 16,109千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員賞与引当金繰入額 | 12,550千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 7,359千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 10,699千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運賃諸掛 | 316,266千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員報酬 | 69,797千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給料手当 | 81,472千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金繰入額 | 18,254千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員賞与引当金繰入額 | 11,600千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 8,128千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 11,079千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------|------------------|-----------|-----------|-------------|---|----------|-------------|------------------|-----------|-----------|-------------|
| 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td><td style="text-align: right;">3,610,814千円</td></tr> <tr><td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td><td style="text-align: right;">281,500千円</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,329,314千円</td></tr> </table> | 現金及び預金勘定 | 3,610,814千円 | 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 281,500千円 | 現金及び現金同等物 | 3,329,314千円 | 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td><td style="text-align: right;">4,383,166千円</td></tr> <tr><td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td><td style="text-align: right;">304,000千円</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,079,166千円</td></tr> </table> | 現金及び預金勘定 | 4,383,166千円 | 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 304,000千円 | 現金及び現金同等物 | 4,079,166千円 |
| 現金及び預金勘定 | 3,610,814千円 | | | | | | | | | | | | |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 281,500千円 | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物 | 3,329,314千円 | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び預金勘定 | 4,383,166千円 | | | | | | | | | | | | |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 304,000千円 | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物 | 4,079,166千円 | | | | | | | | | | | | |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 85,057 | 4 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月30日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成22年11月10日 取締役会 | 普通株式 | 85,048 | 4 | 平成22年9月30日 | 平成22年12月6日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 85,043 | 4 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年11月10日 取締役会 | 普通株式 | 85,043 | 4 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月5日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|------------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 機械関連 事業 | 資源関連 事業 | 不動産関連 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,538,869 | 1,402,053 | 81,877 | 5,022,800 | 417,399 | 5,440,199 | - | 5,440,199 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 303 | 103 | - | 406 | 4,847 | 5,253 | (5,253) | - |
| 計 | 3,539,173 | 1,402,156 | 81,877 | 5,023,207 | 422,246 | 5,445,453 | (5,253) | 5,440,199 |
| セグメント利益 | 490,022 | 108,015 | 44,459 | 642,497 | 45,205 | 687,703 | (1,006) | 686,696 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去713千円、全社費用 1,720千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|------------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 機械関連 事業 | 資源関連 事業 | 不動産関連 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,243,057 | 1,733,018 | 80,653 | 5,056,730 | 381,090 | 5,437,821 | - | 5,437,821 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | 134 | - | 134 | 783 | 918 | (918) | - |
| 計 | 3,243,057 | 1,733,153 | 80,653 | 5,056,864 | 381,874 | 5,438,739 | (918) | 5,437,821 |
| セグメント利益 | 467,326 | 217,253 | 43,239 | 727,820 | 45,830 | 773,650 | (2,153) | 771,497 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去520千円、全社費用 2,673千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 11円98銭 | 21円08銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 254,671 | 448,272 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 254,671 | 448,272 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 21,263 | 21,260 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・85,043千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・4円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成23年12月5日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月9日

株式会社ニッチツ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北方 宏樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平野 雄二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニッチツの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニッチツ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 . 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。